

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	財産区等事務事業			事務事業コード	3121-1
担当	経済 部	耕地林務 課	林務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(定型)		法定根拠	地方自治法	
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 大沢財産区、前山、小宮山財産区、内山財産区各議会の円滑な運営を行う。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・財産区議会前には全員協議会を開催し、議案等について十分な協議を行う。 ・財産区有林等の整備は、各財産区において議員自ら佐久市森林整備計画を基に県林務課の指導を受け森林経営計画を策定し、計画的な施業(間伐、下刈等)を財産区構成員による直営作業と林業事業体への委託により実施する。 ・市は事務局として財産区の経理全般を担う。 ・森の里親契約を促進し、交流人口の創出を図る。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	37,439		24,267		29,899	
	人件費	1.10 人	7,700	0.35 人	2,380	0.35 人	2,380
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	7,700		2,380		2,380	
	総事業費	45,139		26,647		32,279	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	17,691		1,891		2,702	
	一般財源	27,448		24,756		29,577	
	財源合計	45,139		26,647		32,279	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田財産区管理運営事業			事務事業コード	3121-2
担当	総務 部	臼田支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	地方自治法		
管理方法	簡易				
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (臼田地区5財産区で運)				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 財産区の貴重な財産を維持管理することにより、区民は森林の持つ多面的機能を保有し、有効活用が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・各財産区議会を開催(全員協議会2回、定例会2回)し、条例、予算、決算等の議決を行う。 ・財産区の事業に必要な事務を行う。 ・財産区の所有する財産の境界調査及び森林整備、育成を議員とともに進行。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.45 人	3,150	0.55 人	3,740	0.55 人	3,740
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	3,150		3,740		3,740	
総事業費		3,150		3,740		3,740	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	3,150		3,740		3,740	
	財源合計	3,150		3,740		3,740	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月財産区管理運営事業			事務事業コード	3121-3
担当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 各区の貴重な財産を維持管理運営することにより、区民は森林の持つ多面的機能を保有し、有効活用が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ①財産区議会定例会を必要の応じて開催し、予算、決算、条例等を決定していく。 ②財産区の事業に必要な事務を行う。 ③財産区の所有する財産の境界調査及び森林整備、育成を行う。 ④財産区議員及び作業員とともに財産区有林等の資産整備を行い、またこれらに関する事務処理を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	1.00 人	7,000	1.00 人	6,800	1.00 人	6,800
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	7,000		6,800		6,800	
	総事業費	7,000		6,800		6,800	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	7,000		6,800		6,800	
	財源合計	7,000		6,800		6,800	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	森林整備事業			事務事業コード	3122-1
担当	経済 部	耕地林務 課	林務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	森林法、森林病虫害等防除法、道路交通法、森林経営管理法		
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 適切な森林管理と持続可能な森林経営を行うことで、水源涵養、地球温暖化の防止等、森林の持つ多面的機能を発揮させる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 《民有林整備》 ・市有林の整備は、佐久市森林整備計画を基に、県林務課の指導を受け森林経営計画を策定し、計画的な施業(間伐、下刈等)を林業事業者への委託により実施する。 ・私有林の整備は、佐久市森林整備計画を基に、林業事業者等から森林経営計画の提出を受け、計画的な施業の促進が図られるよう県林務課と共に指導を行う。 《松くい虫防除対策》 ・松くい虫によるアカマツの被害は、地元区からの要望書に基づき、被害木を現地を確認する。 ・処理方法は、点状に被害が拡大しているため現地に適した方法として、松くい虫被害木を現地で伐採し薬剤でくん蒸する「伐倒、くん蒸処理」を林業事業者への委託により実施する。 《林道維持管理》 ・林道の改良工事、補修等は民間事業者への委託により実施する。 《その他》 ・地域林政アドバイザーを配置し、森林林業に関する相談窓口を設け普及活動を推進する。 ・平成29年7月1日に取得したFMグループ認証(森林管理)を継続し、適切な森林管理と持続可能な森林経営を行う。 ・市内山林、林道等の定期的な巡視を直営及び委託等により実施する。 ・平成31年4月1日に施行した森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムを推進する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	305,998		346,973		195,422	
	人件費	4.50 人	31,500	3.60 人	24,480	3.60 人	24,480
	非常勤職員等	1368 時間	0	1368 時間	2,786	1368 時間	2,843
	人件費合計	31,500		27,266		27,323	
	総事業費	337,498		374,239		222,745	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	174,146		211,290		84,072	
	一般財源	163,352		162,949		138,673	
	財源合計	337,498		374,239		222,745	

令和 3 年度 実施内容	松くい虫伐倒、くん蒸処理 件 (V=957m ³) 林道橋りよう長寿命化事業1件 森林環境整備事業4路線(側溝土砂撤去等) 市単林道工事9件(うち繰越1件) 林道単独災害復旧工事等103件 林道補助災害復旧工事等6件(うち繰越3件)
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
松くい虫被害木の処理に対する区要望件数	件	実績	44	35	
		目標	30	30	30
	%	達成率	147	117	
成果指標	単位				
松くい虫伐倒、くん蒸処理量(材積)	m ³	実績	1144	957	
		目標	1100	1100	1000
	%	達成率	104	87	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	林業事業者へ委託した松くい虫伐倒、くん蒸処理量(材積)は957立法メートルで、処理料は目標値を下回ったが、区要望件数は目標値を上回った。要因は伐倒・くん蒸したアカマツが例年に比べ樹高がなかったことや、幹が細かったことにより材積量が減少した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	市単事業は、年度当初に林業事業者へ委託し、補助事業は内示後、速やかに林業事業者へ委託しており、区要望に対し、速やかな対応ができる体制をとっている。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久地域松くい虫防除対策会議において、臼田地区は被害先端地域として重点的に対策を取るよう位置付けられている。 ・松くい虫被害は市内全域に広がっており、市内の標高の高い地域や南佐久郡の未被害地域へも被害が拡大している。 ・アカマツ林は、佐久市の景観やマツタケ(特用林産物)の大切な資源でもあるが、松くい虫被害は拡大し続けており、今後も松くい虫防除対策は重要で予算を増強し取り組む必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	拡充	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・松くい虫防除対策は、今後も引き続き、市内全域の防除対策を実施すると共に、未被害地域への被害を拡大させないため、被害先端地域の被害木を優先的に処理することで被害の拡大を抑制していく。 ・財源である国県補助金は補助率の低いものは増加傾向、補助率の高いものは減少傾向にある。今後も被害の拡大を抑制していくため、さらなる予算確保が必要である。このため今後も財源として森林づくり県民税を活用していく。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	有害鳥獣駆除対策事業			事務事業コード	3122-2
担当	経済 部	耕地林務 課	林務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	森林法、森林病虫害等防除法、道路交通法、森林経営管理法		
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	2.林業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 二ホンジカやイノシシなどの有害鳥獣の個体数調整を実施することで農林業被害を減少させる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・個体数調整する二ホンジカ及びイノシシの駆除頭数は、県林務課から示された目標駆除頭数を県林務課と佐久市猟友会との協議を経て設定し、鳥獣被害防止計画に定める。鳥獣被害防止計画は、広域連携及び有利な補助制度を活用するため小諸市、立科町と共同で策定する。 ・市内全域の有害鳥獣駆除は、佐久市猟友会へ委託し、情報共有や連携を図りながら駆除を実施する。 ・猟友会員の確保に向けた取り組みとして、市民を対象としたわな猟講習会の開催や新規狩猟免許取得者等補助金の交付を行う。 ・小諸市、立科町と共に有利な補助制度を活用し、猟友会員が駆除で使用するくくりわななどを共同購入する。 ・駆除後の個体処理は猟友会員の負担となることから、負担軽減のため民間の廃棄物処理施設への搬入の継続及び民間の加工処理施設への搬入を平成30年6月から開始している。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	37,439		35,621		33,354	
	人件費	1.10 人	7,700	1.05 人	7,140	1.05 人	7,140
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	7,700		7,140		7,140	
	総事業費	45,139		42,761		40,494	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	17,691		16,978		16,072	
	一般財源	27,448		25,783		24,422	
	財源合計	45,139		42,761		40,494	

令和 3 年度 実施内容	大型獣のニホンジカ1966頭及びイノシシ34頭の駆除、 小型獣用箱わなの設置19回及び大型獣用檻の設置11回、 ツキノワグマ学習放獣20回、 新規狩猟免許取得者等補助金7名交付 猟友会員による民間の廃棄物処理施設への搬入82頭
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
農林業被害など市民等からの通報に対する出動件数	件	実績	63	32	
		目標	30	30	30
	%	達成率	210	107	
成果指標	単位				
有害鳥獣(ニホンジカ、イノシシ)の駆除頭数	m	実績	2000	2000	
		目標	2000	2000	2000
	%	達成率	100	100	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	農林業被害など市民等からの通報により出動件数は増加傾向である。これらの出動は、市が佐久市猟友会と情報共有し迅速に対応している。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	事業の性格上「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」及び「銃砲刀剣類所持等取締法」に基づき、狩猟免許(銃器、わな等)を所持している者でなければ従事できず、市内団体でこの法律に基づく資格を有するのは佐久市猟友会のみである。
事業の課題	ニホンジカ等は市町村の境界を越えて広域を移動する動物であるため、市内の生息数を的確に把握することは難しく、また地域分布の把握も難しい状況にある。しかし、現在も市民や農林業関係者から被害報告や相談が寄せられており、佐久市猟友会と連携を図るなかで継続した予算確保が必要である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	拡充	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ニホンジカ及びイノシシの目標駆除頭数は、昨年度同様の2,000頭とするほか、地域の要望からサル檻を継続して設置し、農林業災害の未然防止に努める。 今後も引き続き、現場の状況を十分に理解している佐久市猟友会や地元区等との情報共有や綿密な連絡を取り合い、有害鳥獣の状況把握と的確な有害鳥獣の被害防止対策を図るなかで、継続した予算確保に努める。 わな猟講習会などを通じ狩猟に興味のある方、農林業被害に困っている方に対して、県林務課と連携し、狩猟免許取得を促す。</p>		